

教育目標「学び合い 高め合い 共に伸びる子」



佐渡市立七浦小学校

学校だより

令和4年10月31日発行

新潟県 佐渡市立

七浦小学校



No. 8

♪ 来られる時 に来られる方 から さわやか あいさつ うらななうら ♪

次回は11月7日に開催！7:40～8:00 玄関前でお待ちしています！

感謝、感謝、感謝 — コラボレーション文化祭 —

校長 高橋 健

10月22日（土）に、「七浦地域と七浦小学校のコラボレーション文化祭」を予定どおりに開催することができました。保護者の皆様、地域の皆様、子どもたち、そして、先生方に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

子どもたちにとっては何人かの友達が欠席する中での学習発表となりました。誰がいつ欠席してもおかしくない状況ですので、友達がいなくても発表ができるように各学年では練習を重ねてきました。その成果を発揮して、子どもたちは緊張していたようですが、楽しみながら堂々と最後まで発表することができました。

地域からは4団体の出演申込みをいただきましたが、前日に1団体から諸事情のため出演が難しいという連絡が入りました。仕方のないことですのでプログラムを繰り上げることにしていました。そして、迎えた当日の朝。その団体から学校へ連絡が入りました。

「全員での出演は無理ですが、何とかできないかと脚本を作り直したので、出演させてもらえませんか。子どもたちを楽しませたいんです。」

私はこのお気持ちがとても嬉しく、胸が熱くなりました。子どもたちと学校への強い思いを有難く感じました。そこで、プログラムは変更せずに実施することを決定しました。あのコラボレーション文化祭の裏には、このようなやり取りがありました。

正に、学校と地域と一緒に創り上げる文化祭になったと自負しています。改めまして、誠にありがとうございました。

なお、10月27日付けの新潟日報朝刊で紹介されましたので、ぜひご覧ください。

学校と地域が 文化祭コラボ

劇や合奏など楽しく

七浦小

学校の文化祭と地域住民の発表の場を融合した「コラボレーション文化祭」が、佐渡市稲鯨の七浦小学校で開かれた。児童の合奏や住民の民謡など多様な発表がステージを彩った。

地域と学校が一体になった文化祭は、2020年から3年連続となった。20年当時、ウイルス禍の影響で学校の文化祭の練習時間が足りず、中止も検討された中で地域住民が加わりステージ発表が行われた。回数を重ね、交流の機会として定着しつつある。

22日に開かれた文化祭は、児童の七浦甚句でスタート。住民による劇や剣道、児童の劇などが次々と披露された。七浦民謡研究会の佐渡おけさで締めくくり、大きな拍手が送られた。

6年の岩崎心花さん（11）は「たくさんの発表を見るのができて良かった」と語った。



民謡を披露する児童たち＝佐渡市稲鯨

同小の学校運営協議会メンバーの山本一夫さん（72）は「地域が学校に貢献できればうれしい。回を重ねて素晴らしい文化祭にしたい」と満足そうだった。

新潟日報朝刊
令和4年10月27日付け